

まちの できごと

無病息災を願って



1月28日、2月3日に田代地区の各地で鬼火たきが行われました。

鬼火たきは100年ほど前から行われており、竹で組んだやぐらに火をつけ、竹がはじける音で鬼を追い払い、無病息災を願う伝統行事です。

1月28日に行われた大原地区の鬼火たきでは、立志式を迎えた中学2年生の生徒、厄年の方、還暦を迎えた方たちが竹で組まれた大きなやぐらへの火付け役を行い、火がつけられると、周囲に竹のはじける音を響かせながら、勢いよく燃え上がりました。

自然を満喫 大原いきいきウォーク



1月28日、自然豊かな大原地区をコースとした「冬の大原いきいきウォーク」が開催されました。

当日は、町内外から約60人が参加。最初に鹿児島大学医学部岩瀬教授が講演を行った後、大原中学校跡地をスタートし、鶴戸野自治会の近津神社を経て約8キロのウォーキングを楽しみました。

また、昼食には町内の女性グループが地元の食材を使用した豚汁が振舞われたほか、特産品の販売も行われ、たいへん好評だったようです。

音楽コンクールで 最優秀賞受賞



1月20日、第40回県中学校音楽コンクール『春の祭典』があり、神川中学校2年生が学級歌創作の部において、最優秀賞を受賞しました。

神川中学校では学級歌の創作が伝統となっており、今回は池迫佳苗さんと坂下真理奈さんが中心となって作詞と作曲を手がけました。

曲名は19名のクラスメイトを思った「仲間といれば」。『春の祭典』の大舞台にて、堂々と発表することができ、素晴らしい思い出となりました。

荒茶品評会で 県知事賞を受賞



1月30日、鹿児島市内のホテルで開催された鹿児島県茶業青年の会総会において、鳥越和徳さん(京町自治会)が茶業青年の会の荒茶品評会で県知事賞を受賞しました。

品評会には、県内茶業青年が83名、116点の出品。町内からは7点出品され、3名が入賞しました。

鳥越さんは3年連続出品し、今回初めて入賞。「製造していただいた茶工場のおかげで受賞ができました。これからも出品、入賞できるように、日頃から茶園管理に頑張りたいと思います。」と話されました。

100歳おめでとうございます



松崎トラギクさん



福崎虎吉さん(前列左から2番目)

1月28日、福崎虎吉さん(木原自治会)が、2月10日、松崎トラギクさん(南松園入所)がそれぞれ100歳の誕生日を迎えられ、町、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

福崎さん、松崎さんともに明治40年生まれ。長生きの秘訣について、福崎さんは「くよくよしない」、松崎さんは「食事は腹八分とること。」だそうです。これからも元気で過ごされることをご祈念申し上げます。